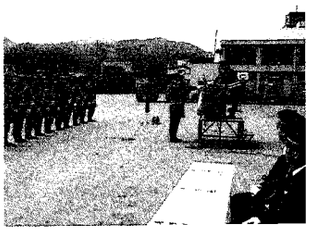
消防団役員改選


辞令交付式の様子

四月四日、午前九時から、谷村第一小学校校庭において、都留市消防団員辞令交付式が行われ、新たに次の方々が役員となりました。

団　長　平井　清
副団長　前田照茂
谷村第一分団
各部長　渡辺明彦、石川和弘、小澤　眞、落合清司、奥脇利浩、佐藤洋一、青池二三男、野武正義、小林達也、近藤　保、庄司道之、源生光洋、渡辺伸一
谷村第二分団
分団長　曽根利憲
副分団長　小林三良
志村一男
本部員　亀田　豊
各部長　小池裕之、志村幸一、亀田明宏、山室昌俊、小林清明、高部一也、小俣雅充、日向義一、奥脇英樹
東桂分団
分団長　伊藤雄一
副分団長　佐藤勝吉
各部長　松島和雄、志村　潔、藤江正邦、三枝道和、柏木勇治、伊藤敏秀、志村保夫、相川定広
禾生分団
分団長　志村貞夫
副分団長　藤本明久
杉本　旦
本部員　内藤秀行
各部長　上原　厚、小林禎治、板倉佳人、清水　章、田辺正明、小林裕成
宝分団
各部長　園田　博、飯田　満、前田正茂、山崎恒雄、城之内　勇
盛里分団
分団長　平井保正
副分団長　原田　進
野武一雄
本部員　清水一夫
各部長　谷内新作、小俣　清、小俣弘一

消防団活動にご理解ご協力を

消防団は、消防本部や消防署と同じく消防組織法によって市町村に設置されている消防機関です。

平成十年四月一日現在、全国で三、六四三団とほとんどすべての市町村に設置されており、九六二、六二五名が消防団員として地域の安全を守るために活躍しています。

消防団は、「自らの地域は自らで守る」という精神に基づき、それぞれの地域の住民有志によって組織されていますが、その構成員である消防団員の身分は、特別職の地方公務員として位置づけられています。

消防団員は、普段は各自の職業に就きながら、いざ火災などの災害が発生した場合には、いち早く現場へ駆けつけ、消火活動をはじめ、現場付近の警戒、けが人の救護などにあたっています。

また、風水害や地震、林野火災など多数の要員が必要となる大規模災害時においても救助救出活動、避難誘導、災害防ぎょ活動などにあたっており、昨年も八月から十月にかけての豪雨、台風による災害時において、延べ約二十七万人の消防団員が出動し、危険箇所などの警戒巡視、要救助者の救助、行方不明者の捜索、非難誘導、土のう積みなどの活動にあたりました。

さらに、火災予防の面でも、一人暮らしの高齢者宅への防火訪問、住民指導、巡回広報、特別警戒など地域に密着した組織として、幅広い活動を行っています。

このように消防団は、地域の暮らしの安全を守るため、大変重要な役割を果たしており、消防団に対する期待は極めて大きなものがあります。

消防団員は、自らの仕事のかたわら、災害が発生した際には真っ先に災害現場に出動するとともにその職務の性質上、日常においても訓練などが要求されますので、家族はもとより、いわゆるサラリーマン団員の場合には、企業、事業所の理解と協力が欠かせません。家族や勤め先の方々をはじめとする皆さんの理解と協力が得られてはじめて、消防団は住民と一体となった消防防災活動を行うことができるのです。

消防団とその活動に対する一層のご理解とご協力をお願いします。

上水道 法能配水場（第六水源）完成

施設完成で水不足が解消されることとなった法能配水場

市では、水道施設の老朽化にともなう施設整備を計画的に行っていますが、平成十年度事業で新しく法能地内に、一日当たり三〇〇〇立方メートルを供給できる施設が完成しました。

今までは、大津地内（第三水源）にある施設から開地、三吉地区の上水道区域へ供給していましたが、使用量の増大などから水不足となり高台の水圧低下が発生して不便をおかけしてきました。これを解消するとともに新しいトンネル（鍛冶屋坂）を通して谷村本町へも給水できるよう、現在協議しているところです。

阪神淡路大震災を教訓に災害を受けても、配水池には常時一〇〇〇立方メートルが確保され、常時飲料水が供給できる施設となっています。

今後も年次計画に沿い、「より安全でおいしい水」「災害に強い施設」「緊急時における給水確保」を図っていきますので市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。